

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態
C25AS111		工学エンジン I			講義
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	1年	前期	50分	15
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		岩本 満			
■ 授業概要及び到達目標					
ガソリンエンジンの力の発生原理およびガソリンエンジンの4行程を学ぶとともに、エンジン本体の構造(ピストン〜クランクシャフト)と作動及び各種装置の概要を学ぶ。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名			出版社
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ガソリン・エンジン構造			全国自動車大学校・整備専門学校協会
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容
1	力の発生のしくみとガソリンエンジンの4行程				
2	力の発生のしくみとガソリンエンジンの4行程				
3	力の発生のしくみとガソリンエンジンの4行程				
4	クランク機構のしくみ				
5	エンジンの種類と構造による分類				
6	ピストンリング				
7	ピストンリングリング不具合				
8	クランクシャフト				
9	シリンダヘッド				
10	カムシャフト				
11	バルブ機構				
12	各装置概要(吸排気、燃料、点火、冷却)				
13	確認テスト				
14	科目習得試験				
15	工学エンジン I 復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態	
C25AS112		工学エンジンⅠ			講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年	前期	50分	15	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員 岩本 満						
■ 授業概要及び到達目標						
V型8気筒エンジンの特徴及びバルブタイミングダイアグラムについて学ぶ。 電動ファン、論理回路、ライト消し忘れ警報装置の故障原因探求を行う。						
■ 成績評価基準						
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名			出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ジーゼル・エンジン構造			全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容	
1	V型8気筒エンジンの特徴及び構造					
2	バルブタイミングダイアグラム復習					
3	V型8気筒エンジンのバルブタイミングダイアグラム					
4	V型8気筒エンジンのバルブタイミングダイアグラム					
5	V型8気筒エンジンのバルブタイミングダイアグラム					
6	電動ファン回路					
7	電動ファン回路の不具合					
8	論理回路					
9	ライト消し忘れ警報装置の回路					
10	ライト消し忘れ警報装置の回路の不具合					
11	ライト消し忘れ警報装置の回路の不具合					
12	ライト消し忘れ警報装置の回路の不具合					
13	確認テスト					
14	科目修得試験					
15	工学エンジンⅠ復習					
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態		
C25AS113		工学エンジンⅡ		講義		
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 授業時数		■ 単位数
専門	必修	1年	前期	50分	15	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員		岩本 満				
■ 授業概要及び到達目標						
ガソリンエンジンにおける出力制御方法及び吸排気装置と動弁機構の役割・構造を学ぶ。 自動車の排気ガスの発生過程及び有害な大気汚染物質について理解する。						
■ 成績評価基準						
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名			出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ガソリン・エンジン構造			全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容	
1	工学エンジンⅠ復習					
2	シリンダブロック					
3	シリンダヘッド					
4	シリンダヘッドガスケット					
5	吸排気装置の役割					
6	出力制御方法					
7	エンジン負荷					
8	バルブクリアランス					
9	エンジン負荷					
10	動弁機構概要					
11	動弁機構構成部品					
12	バルブクリアランス					
13	確認テスト					
14	科目習得試験					
15	工学エンジンⅡ復習					
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS114		工学エンジンⅡ		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	2年	前期	50分	15
1					
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員 岩本 満					
■ 授業概要及び到達目標					
ジーゼルエンジンとガソリンエンジンの違いを理解する。ジーゼルエンジンの特徴及び排気ガス、特有の予熱装置について学ぶ。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)					
＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ジーゼル・エンジン構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	ジーゼルエンジン概要				
2	ガソリンエンジンとの違い				
3	ジーゼルの燃焼原理				
4	空気過剰率				
5	排気ガス				
6	排気ガス後処理装置				
7	排気ガス後処理装置				
8	予熱装置概要				
9	インテークエアヒータ				
10	ブロープラグ				
11	グロープラグ				
12	予熱装置回路				
13	確認テスト				
14	科目修得試験				
15	工学エンジンⅡ 復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS121		工学シャシ I		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	1年	前期	50分	15
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		中川 将			
■ 授業概要及び到達目標					
シャシ構成部品全体の確認をするとともに、実習場内での安全作業、リフト・ガレージジャッキの取り扱いを学ぶ。タイヤ&ホイールの役割・構造を学ぶ。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%) <基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	シャシ概要				
2	シャシ構成部品				
3	シャシの種類				
4	ガレージジャッキ、リフトの取扱い				
5	ガレージジャッキ、リフトの取扱い				
6	ガレージジャッキ、リフトの取扱い				
7	ガレージジャッキ、リフトの取扱い				
8	KYT(危険予知トレーニング)				
9	タイヤ				
10	タイヤ				
11	タイヤ				
12	科目修得試験				
13	前期試験発表とシャシ I 復習				
14	シャシ I 復習				
15	シャシ I 復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS122		工学シャシ I		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	2年	前期	50分	15
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		中川 将			
■ 授業概要及び到達目標					
パワーステアリングの必要性和構造を学び、マニュアルステアリングとの違いを学ぶ。ABSの必要性和構造を学び、ABS非搭載車との違いを学ぶ。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%) <基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	パワーステアリング(P／S)概要				
2～4	パワーステアリング構成部品、オイルポンプ作動				
5～6	電動パワーステアリング概要と制御				
7	パワーステアリング確認テスト				
8～11	アンチロックブレーキシステム(ABS)概要と制御				
12	アンチロックブレーキシステム(ABS)確認テスト				
13～14	トラクションコントロール(TRC)とビークルスタビリティコントロール(VSC)の紹介				
15	科目修得試験				
			</		

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態	
C25AS123		工学シャシⅡ			講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	前期	50分	15	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員		中川 将				
■ 授業概要及び到達目標						
動力伝達装置のクラッチおよびマニュアルトランスミッションの役割・構造を学ぶ。トランスミッションの学習において必要になるギヤ比と伝達トルクを学ぶ。						
■ 成績評価基準						
学科試験(100%) <基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可						
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名			出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容	
1	動力伝達装置の概要					
2	動力伝達装置の概要					
3	クラッチ概要					
4	クラッチ概要					
5	マニュアル・トランスミッションの構造					
6	マニュアル・トランスミッションの構造					
7	マニュアル・トランスミッション(動力伝達経路)					
8	マニュアル・トランスミッション(動力伝達経路)					
9	ギヤ比の計算					
10	ギヤ比の計算					
11	伝達トルク(経路)					
12	伝達トルク(計算)					
13	科目修得試験					
14	前期試験発表とシャシⅠ復習					
15	シャシⅠ復習					
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS124		工学シャシⅡ		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
専門	必修	2年	前期	50分	
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		中川 将			
■ 授業概要及び到達目標					
オートマチックトランスミッションの構造と制御について学ぶ。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%) <基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	オートマチックトランスミッション(A/T)概要				
2～4	トルクコンバータの構造と性能曲線図				
5	プラネタリギヤ比の計算				
6～11	ロックアップ制御				
12	変速の仕組み				
13	A/T電子制御				
14	A/T安全装置				
15	科目修得試験				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態
C25AS125		工学シャシⅢ			講義
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	1年	前期	50分	15
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		中川 将			
■ 授業概要及び到達目標					
制動装置（ブレーキ）の全体的構造、利用されている原理、種類について学ぶ。マスターシリンダーとディスクブレーキ・ドラムブレーキの構造と特徴を学ぶ。					
■ 成績評価基準					
学科試験（100%） ＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名			出版社
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士（総合）			日本自動車整備振興会連合会
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士（総合）			日本自動車整備振興会連合会
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	ブレーキ概要				
2	ブレーキ概要				
3	ブレーキ種類				
4	ブレーキ種類				
5	油圧の発生原理				
6	油圧の発生原理				
7	マスタ・シリンダの概要				
8	マスタ・シリンダの構造				
9	ディスク・ブレーキの概要				
10	ディスク・ブレーキの構造				
11	ドラム・ブレーキの概要				
12	ドラム・ブレーキの構造				
13	科目修得試験				
14	工学シャシⅢの復習				
15	工学シャシⅢの復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS126		工学シャシⅢ		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	2年	前期	50分	15
1					
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		中川 将			
■ 授業概要及び到達目標					
LSDの必要性と構造、電子制御式サスペンション(エアサスペンション)の特徴を学ぶ。大型車のエアブレーキ、エア油圧ブレーキの構造と特徴を理解する。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)					
<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	LSD概要とピスカス式LSDの構造・作動				
3～4	エアサスペンション概要とエアサス構成部品				
5～6	電動エアサスペンション概要と作動				
7	大型ブレーキ(ブレーキバルブ)				
8	大型ブレーキ(リレーバルブ)				
9～10	大型ブレーキ(エア油圧式概要とエア・油圧の流れ)				
11	大型ブレーキ(エア油圧式制動倍力装置)				
12	大型ブレーキ(フルエア式概要とブレーキの作動)				
13～14	確認テスト&解説				
15	科目修得試験				
	</				

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS127		工学シャシⅣ		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	1年	前期	50分	15
1					
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		中川 将			
■ 授業概要及び到達目標					
動力伝達装置のプロペラシャフト・ディファレンシャル・ドライブシャフトの役割・構造を学ぶ。動力伝達のシャフトに使用されるジョイントの種類と特徴を理解する。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)					
<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	プロペラ・シャフトの概要				
2	等速ジョイントの概要				
3	不等速ジョイントの概要				
4	ドライブ・シャフトの概要				
5	ドライブ・シャフトの構造				
6	デファレンシャルの概要				
7	デファレンシャルの構造と伝達経路				
8	デファレンシャルの構造と伝達経路				
9	ギヤ・ベアリングの作用				
10	バックラッシュの必要性				
11	プレロードの概要				
12	確認テスト				
13	科目修得試験				
14	前期工学シャシの総まとめ				
15	前期工学シャシの総まとめ				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態	
C25AS131		工学電装Ⅰ			講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	前期	50分	15	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員		小屋敷 真				
■ 授業概要及び到達目標						
自動車に使用されている電気の基本(電源、アース、回路)を学びながら、オームの法則を理解する。自動車の電源であるバッテリーの役割・構造を学ぶ。						
■ 成績評価基準						
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名			出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造			全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容	
1	電気の基本(電圧、電流、抵抗)					
2	電気の基本(電圧、電流、抵抗)					
3	電気回路					
4	電気回路					
5	オームの法則					
6	オームの法則					
7	オームの法則と計算問題					
8	オームの法則と計算問題					
9	バッテリーの必要性と役割					
10	バッテリーの構造					
11	バッテリーの化学反応					
12	バッテリーの比重と起電力					
13	確認テスト					
14	科目習得試験					
15	工学電装Ⅰ復習					
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態
C25AS132		工学電装 I			講義
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	2年	前期	50分	15
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		小室敷 真			
■ 授業概要及び到達目標					
電子制御式燃料噴射装置と電子制御式スロットルバルブの構成部品、噴射制御(基本燃料噴射時間と補正噴射時間)について学ぶ。 吸排気装置の過給機の特徴を理解する。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%) <基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名			出版社
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ガソリン・エンジン構造			全国自動車大学校・整備専門学校協会
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	基本噴射時間				
2	クランク角センサーとエンジン回転速度				
3	カム角センサーと気筒判別				
4	吸入空気量とエアフローメーター				
5	補正噴射時間の種類				
6	電源電圧補正				
7	吸気温度補正				
8	始動時基本噴射時間				
9	センサーと各種制御				
10	電子制御式スロットルバルブ特徴				
11	ISCVの制御				
12	過給機概要				
13	ターボチャージャーとスーパーチャージャーの違い				
14	燃料噴射制御復習				
15	科目修得試験				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS133		工学電装Ⅱ		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	1年	前期	50分	15
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		小室敷 真			
■ 授業概要及び到達目標					
始動装置の必要性、スタータの回路と電気の流れ及び作動を理解する。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)					
<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	始動装置概要				
2	スタータの構造				
3	スタータの回路				
4	スタータの回路				
5	スタータの作動				
6	スタータの作動				
7	スタータ各部品の役割と点検				
8	スタータ各部品の役割と点検				
9	スタータ各部品の役割と点検				
10	スタータ各部品の役割と点検				
11	スタータ出力特性				
12	スタータ出力計算方法				
13	確認テスト				
14	科目習得試験				
15	工学電装Ⅱ復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態		
C25AS141		力学Ⅰ		講義		
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	前期	50分	20	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
新村 将士		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員						
■ 授業概要及び到達目標						
自動車整備に必要な考え方や原理を数字を使用して理解を深めていく。基本となる単位や単位換算、トルク、圧力、オームの法則を学ぶ。						
■ 成績評価基準						
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名			出版社	
大須賀和美		自動車整備士の数学			精文館	
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容	
1	実力チェック			11	オームの法則	
2	高校までの復習			12	オームの法則	
3	高校までの復習			13	オームの法則、実力チェック	
4	トルク			14	圧力	
5	トルク			15	圧力	
6	トルク、実力チェック			16	圧力	
7	速度			17	圧力、実力チェック	
8	速度			18	確認テスト	
9	速度、実力チェック			19	科目修得試験	
10	オームの法則			20	力学Ⅰ復習	
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名			
2025年度		自動車整備科					
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態		
C25AS142		力学 I			講義		
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数		■ 単位数
専門	必修	2年	後期	50分	20	1	
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴			
森田 聡		専任		二級自動車整備士として(学)トヨタ神戸整備学園に勤務			
■ その他教員							
■ 授業概要及び到達目標							
自動車整備に必要な考え方や原理を数字を使用して理解を深めていく。仕事率、出力、ピストンスピード、排気量を学ぶ。							
■ 成績評価基準							
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			
■ テキスト・参考書							
著者名		書籍名			出版社		
大須賀和美		自動車整備士の数学			精文館		
■ 特記事項							
■ 授業計画							
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容		
1	授業の進め方と1年次の復習			11	電力		
2	国家試験問題を解く			12	排気量と総排気量		
3	圧力(総合問題)			13	排気量と総排気量		
4	圧力(総合問題)			14	圧縮比		
5	圧力(総合問題)			15	圧縮比		
6	軸重(トラック・レッカー)			16	排気と圧縮比のまとめ		
7	軸重(トラック・レッカー)			17	ギヤ比(回転速度とトルク)		
8	軸重(トラック・レッカー)			18	ギヤ比(回転速度とトルク)		
9	電力			19	科目修得試験		
10	電力			20	力学 I 復習		
備考							

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名			
2025年度		自動車整備科					
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態		
C25AS143		力学Ⅱ			講義		
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数		■ 単位数
専門	必修	1年	前期	50分	20	1	
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴			
新村 将士		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務			
■ その他教員							
■ 授業概要及び到達目標							
自動車整備に必要な考え方や原理を数字を使用して理解を深めていく。ギヤ比、軸重、加速度を学ぶ。1年次の復習を行い、計算ができる基礎を作る。							
■ 成績評価基準							
学科試験(100%)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			
■ テキスト・参考書							
著者名		書籍名			出版社		
大須賀和美		自動車整備士の数学			精文館		
■ 特記事項							
■ 授業計画							
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容		
1	ギヤ比			11	速度復習		
2	ギヤ比			12	加速度		
3	ギヤ比			13	加速度		
4	ギヤ比			14	加速度		
5	トルク復習			15	1年間の復習(単位換算)		
6	軸重			16	1年間の復習(圧力)		
7	軸重			17	1年間の復習(オームの法則)		
8	軸重			18	1年間の復習(軸重)		
9	軸重			19	1年間の復習(加速度)		
10	軸重			20	科目修得試験		
備考							

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS144		力学Ⅱ		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	2年	後期	50分	20
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
森田 聡		専任		二級自動車整備士として(学)トヨタ神戸整備学園に勤務	
■ その他教員					
■ 授業概要及び到達目標					
自動車整備に必要な考え方や原理を数字を使用して理解を深めていく。速度と回転速度から使用ギヤの算出やスタータ出力、オームの法則応用問題を学ぶ。2年次の復習を行い、習った方法を駆使して答えを算出できるようになる。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%) <基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
大須賀和美		自動車整備士の数学		精文館	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	力学Ⅰの復習		11	ギヤ比(プラネタリギヤ)	
2	仕事率		12	オームの計算(国家試験問題出題分)	
3	仕事率		13	オームの計算(国家試験問題出題分)	
4	仕事率		14	オームの計算(国家試験問題出題分)	
5	エンジン回転速度の算出		15	オームの計算(国家試験問題出題分)	
6	エンジン回転速度の算出		16	1年間の復習	
7	エンジン回転速度の算出		17	1年間の復習	
8	シフト位置問題		18	1年間の復習	
9	シフト位置問題		19	1年間の復習	
10	ギヤ比(プラネタリギヤ)		20	科目修得試験	
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS151		電気電子理論		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
専門	必修	2年 前期	50分	■ 授業時数 ■ 単位数	
				15	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		小屋敷 真			
■ 授業概要及び到達目標					
電気自動車及びハイブリッド自動車の制御について学ぶ。 先進安全技術、自動車の新技術についての知識を身につける。 空気調和装置の概要及びオートエアコンの制御を知る。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	ハイブリッド自動車の概要				
2	ハイブリッド自動車の制御				
3	電気自動車の概要				
4	電気自動車の制御				
6	先進安全技術				
7	自動車の新技術				
8	空気調和装置概要				
9	空気調和装置構成部品				
10	冷媒				
11	空気調和装置のセンサ				
12	エアコンの制御				
13	確認テスト				
14	科目修得試験				
15	電気電子理論復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS161		材料・図面		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
専門 必修		2年 後期		50分	
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
黒木 秀雄		専任		自動車メーカーにてエンジン設計担当として勤務	
■ その他教員					
■ 授業概要及び到達目標					
自動車に使用されている材料についての基礎を学び、主な部品がどのような製造方法で作られているのか、その材料を使う理由などを学ぶ。また、部品や整備マニュアルの理解を深めるために製図の基礎を学び、平面図や立体図が書けるようになる。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		製図		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	車のスケッチ				
2	図面の大きさ、線、文字、尺度				
3	投影法、第三角法による正投影図				
4	等角図と正投影図1, 2				
5	等角図と正投影図3, 4				
6	等角図と正投影図5, 6				
7	修得試験				
8	鉄鋼材料の分類・組織と性質・用途				
9	鋼の炭素含有量・熱処理				
10	非鉄金属系と鉄系の比較				
11	非鉄金属系の特徴				
12	合成樹脂・ガラス・FRMの性質・用途・特徴				
13	塗料の種類・特徴				
14	復習・練習問題				
15	科目修得試験				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS171		燃料油脂		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
専門	必修	1年	通年	50分	
				15	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		■ 授業概要及び到達目標			
新村 将士		自動車に使用される燃料の種類(ガソリン・軽油・LPガス)の精製方法とそれぞれの特徴について、および使用される油脂の特徴を学ぶ。			
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	油脂の概要(種類と必要性)				
2	燃料の概要				
3	熱機関				
4	内燃機関の種類				
5	内燃機関の種類				
6	熱力学				
7	理論サイクル				
8	燃焼				
9	燃焼過程				
10	排出ガス				
11	排出ガス				
12	燃料の精製				
13	燃料の特徴				
14	確認テスト				
15	科目修得試験				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態		
C25AS211		整備エンジン		講義		
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 授業時数	■ 単位数	
専門	必修	1年	後期	50分	15	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員		岩本 満				
■ 授業概要及び到達目標						
発電・整流・電圧制御の原理を学び、充電装置の各 부품の役割を理解する。冷却装置の役割・構造を学ぶ。						
■ 成績評価基準						
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名		出版社		
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会		
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会		
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ガソリン・エンジン構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会		
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容		
1	充電装置概要					
2	オルタネータ					
3	オルタネータ					
4	オルタネータ					
5	ボルテージレギュレータ					
6	ボルテージレギュレータ					
7	冷却装置の役割					
8	ラジエータ					
9	ラジエータキャップ					
10	ウォータポンプ					
11	サーモスタット					
12	電動ファン					
13	確認テスト					
14	科目修得試験					
15	整備エンジン復習					
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS212		整備エンジン		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	2年	後期	50分	15
1					
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		岩本 満			
■ 授業概要及び到達目標					
ディーゼルエンジンの高圧燃料噴射装置であるコモンレール式とユニットインジェクタ式について、構造と制御について学ぶ。 ガソリンエンジンの電子制御式点火装置の制御を理解する。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ガソリン・エンジン構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ディーゼル・エンジン構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	電子制御式点火装置概要				
2	点火信号、点火指示信号				
3	イグナイタ、イグニッションコイル				
4	通電時間制御				
5	過電保護回路				
6	基本進角、補正進角				
7	フェイルセーフ				
8	コモンレール概要				
9	サプライポンプ				
10	インジェクタ				
11	コモンレール制御				
12	コモンレール制御				
13	確認テスト				
14	科目修得試験				
15	整備エンジン復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS221		整備シャン I		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
専門	必修	1年	後期	50分	15
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		中川 将			
■ 授業概要及び到達目標					
操舵装置のステアリング装置について役割・構造を学ぶとともに自動車の旋回しやすさを向上させる工夫を知る。制動装置の制動倍力装置の役割・構造を学ぶ。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%) <基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	操舵装置の概要				
2	ステアリング操作機構				
3	コラプシブル・ステアリング				
4	ギヤ・ボックスの種類				
5	ラック&ピニオンの構造				
6	ボール・ナットの構造				
7	ステアリング機構				
8	旋回性能				
9	旋回性能				
10	制動倍力装置の概要				
11	制動倍力装置の構造				
12	制動倍力装置の構造				
13	点検方法の確認				
14	科目修得試験				
15	後期中間試験発表と整備シャン I の復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名			
2025年度		自動車整備科					
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態		
C25AS222		整備シャシ I			講義		
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数		■ 単位数
専門	必修	2年	後期	50分	30	2	
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴			
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務			
■ その他教員		中川 将					
■ 授業概要及び到達目標							
大型車のエキゾーストブレーキやエディカレントリターダ、インターアクスルディファレンシャルの構造と特徴を学ぶ。							
■ 成績評価基準							
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			
■ テキスト・参考書							
著者名		書籍名			出版社		
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会		
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会		
■ 特記事項							
■ 授業計画							
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容		
1	エキゾーストブレーキ概要			16	エアサス概要		
2	エキゾーストブレーキ概要			17	エアサス概要		
3	エキゾーストブレーキ構造			18	エアサス構造		
4	エキゾーストブレーキ構造			19	エアサス構造		
5	エキゾーストブレーキ確認テスト			20	エアブレーキ概要		
6	インターアクスルディファレンシャル概要			21	エアブレーキ概要		
7	インターアクスルディファレンシャル概要			22	エアブレーキ構造		
8	インターアクスルディファレンシャル構造			23	エアブレーキ構造		
9	インターアクスルディファレンシャル構造			24	エアサス確認テスト		
10	インターアクスルディファレンシャル確認テスト			25	大型シャシ確認テスト		
11	エディカレントリターダー概要			26	エアブレーキ確認テスト		
12	エディカレントリターダー概要			27	科目修得試験		
13	エディカレントリターダー構造			28	補助ブレーキ復習		
14	エディカレントリターダー構造			29	補助ブレーキ復習		
15	エディカレントリターダー確認テスト			30	補助ブレーキ復習		
備考							

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS223		整備シャシⅡ		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	1年	後期	50分	15
1					
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		中川 将			
■ 授業概要及び到達目標					
緩衝装置のサスペンションについて、役割・構造・種類を学ぶとともに、緩衝装置が原因で発生する不具合について理解する。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)					
<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	ABSの概要				
2	アクスル及びサスペンションの概要				
3	スプリングの種類と特性線図の見方				
4	サスペンションの性能				
5	サスペンションの性能				
6	サスペンションの異音				
7	サスペンションの異音				
8	車軸懸架式の概要				
9	車軸懸架式の特徴				
10	独立懸架式の概要				
11	独立懸架式の特徴				
12	ショック・アブソーバの構造				
13	ショック・アブソーバの作動				
14	ボデー振動				
15	科目修得試験				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS224		整備シャシⅢ		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	1年	後期	50分	15
1					
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		中川 将			
■ 授業概要及び到達目標					
車両のホイールアライメントについて役割・原理を学ぶ。1年次に学習したシャシ構成部品の復習を行うとともに、シャシ構成部品が原因となる不具合について学ぶ。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)					
＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	タイヤの種類とその特徴				
2	タイヤの呼び				
3	タイヤの異常摩耗				
4	ホイールの概要				
5	ホイールの構造と呼び				
6	ホイール・アライメントの概要				
7	ホイール・アライメントの種類とその作用				
8	ホイール・アライメントの種類とその作用				
9	旋回性能の再確認				
10	ホイール・アライメントの確認と復習				
11	ホイール・アライメントの確認と復習				
12	タイヤの異常現象とその原因				
13	タイヤの異常現象とその原因				
14	科目修得試験				
15	後期期末試験発表と整備シャシⅢの復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態	
C25AS231		整備電装Ⅰ			講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	後期	50分	15	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員		小屋敷 真				
■ 授業概要及び到達目標						
配線図の読み方、電気の流れを理解する。バルブタイミングダイアグラムを利用して、6気筒エンジンにおける各気筒の行程及びバルブの動きを理解する。						
■ 成績評価基準						
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名			出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造			全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容	
1	配線図の使い方					
2	配線図の使い方					
3	配線図の使い方					
4	配線図の使い方					
5	配線図の使い方					
6	配線図の使い方					
7	配線図の使い方					
8	外部診断機					
9	外部診断機					
10	バルブタイミングダイアグラム					
11	バルブタイミングダイアグラム					
12	バルブタイミングダイアグラム					
13	確認テスト					
14	科目修得試験					
15	整備電装Ⅰ復習					
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態	
C25AS232		整備電装Ⅰ			講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年	後期	50分	15	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員		小屋敷 真				
■ 授業概要及び到達目標						
可変バルブタイミングの仕組みと制御、パワーウィンドウ回路について学ぶ。 各装置の電気回路の復習。						
■ 成績評価基準						
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名			出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造			全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容	
1	可変バルブ機構概要					
2	可変バルブ機構の構成部品					
3	可変バルブ機構の構成部品					
4	可変バルブ機構の制御					
5	可変バルブ機構の制御					
6	パワーウィンドウの制御					
7	パワーウィンドウの回路					
8	電動ファン回路復習					
9	電動ファン回路復習					
10	ライト消し忘れ警報装置回路復習					
11	ライト消し忘れ警報装置回路復習					
12	電気回路(オームの法則)復習					
13	確認テスト					
14	科目修得試験					
15	整備電装Ⅰ復習					
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS233		整備電装Ⅱ		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	1年	後期	50分	15
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		小室敷 真			
■ 授業概要及び到達目標					
点火装置の役割・種類・構造を学ぶ。昇圧の原理と点火時期の重要性を理解する。 一年次のエンジン・電装分野の復習を行う。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%) <基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	点火装置の構成				
2	自己誘導作用				
3	相互誘導作用				
4	構成部品				
5	熱価				
6	消炎作用				
7	点火時期				
8	点火時期				
9	進角の必要性				
10	遅角の必要性				
11	外部診断機の使い方				
12	後期試験				
13	確認テスト				
14	科目修得試験				
15	一年次の復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態	
C25AS234		整備電装Ⅱ			講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年	後期	50分	15	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員		小屋敷 真				
■ 授業概要及び到達目標						
二輪車、四輪車の各種灯火装置回路と構成部品を学ぶ。 二年間の総復習をし、国家試験問題に取り組む。						
■ 成績評価基準						
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名			出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造			全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容	
1	二輪車の灯火装置回路					
2	二輪車の灯火装置回路					
3	四輪車の灯火装置回路					
4	四輪車の灯火装置回路					
5	スタータ復習					
6	スタータ復習					
7	スタータ復習					
8	オルタネータ復習					
9	オルタネータ復習					
10	オルタネータ復習					
11	バッテリー復習					
12	バッテリー復習					
13	バッテリー復習					
14	科目修得試験					
15	整備電装Ⅱ復習					
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS241		整備故障探求		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	2年	後期	50分	15
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
蒲地 美照		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		中川 将			
■ 授業概要及び到達目標					
実践的なトラブルシューティングの考え方と進め方を学ぶ。現象確認、原因の推定、点検の実施、不具合箇所の特定の手順と点検方法を学ぶ。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	トラブルシュート概要				
2	トラブルシュートの考え方と進め方				
3	現象確認と原因の推定				
4	エンジントラブル:エンジン始動不能				
5	各系統の点検方法と切り分け方				
6	エンジントラブル:ラフアイドル				
7	各系統の点検方法と切り分け方				
8	シャシ関係に起きるトラブル				
9	シャシ関係に起きるトラブル				
10	外部診断器を用いたトラブルシュート (ダイアグノーシスコード)				
11	フリーズフレームデータ				
12	ダイアグノーシスコードの確認と消去方法				
13	故障時の問診(お客様対応)				
14	故障時の問診(お客様対応)				
15	科目修得試験				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS311		整備電子制御		講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	1年	後期	50分	15
1					
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		岩本 満			
■ 授業概要及び到達目標					
レーダーやカメラなどを用いた先進安全技術について学ぶ。 自動運転のレベルや運転支援装置についての知識を身につける。					
■ 成績評価基準					
学科試験(100%) ＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	カメラの種類				
2	各カメラの特徴				
3	レーダーの種類				
4	各レーダーの特徴				
5	整備上の注意				
6	故障診断の手順				
7	故障診断の手順				
8	エーミングについて				
9	自動運転について				
10	自動運転について				
11	運転支援装置				
12	運転支援装置				
13	確認テスト				
14	科目修得試験				
15	整備電子制御復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態	
C25AS411		自動車検査			講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年	後期	50分	20	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員						
■ 授業概要及び到達目標						
自動車の検査業務に関係する内容として保安基準を学ぶ。						
■ 成績評価基準						
学科試験(100%)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名			出版社	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		法令教本			公論出版	
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容	
1	自動車の構造			11	自動車の装置(灯火関係)	
2	自動車の構造			12	自動車の装置(灯火関係)	
3	自動車の装置(原動機及びシャシ関係)			13	自動車の装置(運転装置)	
4	自動車の装置(原動機及びシャシ関係)			14	自動車の装置(運転装置)	
5	自動車の装置(車体関係)			15	自動車の装置(運転装置)	
6	自動車の装置(車体関係)			16	緊急自動車	
7	自動車の装置(公害防止関係)			17	緊急自動車	
8	自動車の装置(公害防止関係)			18	国家試験問題	
9	自動車の装置(灯火関係)			19	国家試験問題	
10	自動車の装置(灯火関係)			20	科目修得試験	
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態	
C25AS511		法規			講義	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年	前期	50分	25	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員						
■ 授業概要及び到達目標						
自動車に関する法規(主に道路運送車両法)について学ぶ。						
■ 成績評価基準						
学科試験(100%)					<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名			出版社	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		法令教本			公論出版	
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容	
1	車両法の法体系・車両法に関連する法律			16	点検整備記録簿・特定整備の定義	
2	最近の主な法令の改定概要			17	整備管理者・整備命令(50・52条)	
3	自動車の種類(この法律の目的・定義・自動車の種別)			18	自動車整備士の技能検定	
4	登録制度(登録の「一般的効力」)(第4・5条)			19	検査制度(自動車の検査58・72・74条) 新規検査・継続検査・臨時検査・予備検査	
5	自動車登録ファイル(第6条)			20	自動車検査証の記載事項	
6	新規登録の申請・基準(第8・9条)			21	認証制度〔自動車特定整備事業〕 特定整備記録簿(91・92条)	
7	自動車登録番号標(第11・19条)			22	指定制度・優良整備事業者の認定	
8	変更登録・移転登録・抹消登録(12・13・14・16条)			23	指定整備事業の指定 自動車検査員・保安器樹陰適合証・責任保険	
9	封印取り付けの委託(第25・28条)			24	指定整備記録簿・限定保安基準適合証	
10	車体番号の打刻(29・30・31・32条)			25	科目修得試験	
11	譲渡証明書・臨時運行の許可・回送運行					
12	保安基準〔自動車の構造・自動車の装置〕					
13	乗車定員・最大積載量					
14	点検整備制度・使用者の点検及び整備の義務					
15	日常点検・定期点検(47・48条)					
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS711		整備作業エンジンⅠ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	前期	50分	40
					1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		岩本 満			
■ 授業概要及び到達目標					
ガソリンエンジンをすべて分解し、本体の構造を確認する。 点火、冷却、吸排気、燃料装置の役割を理解する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(60%以上) 授業レポートの結果(40%以内)					
<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ガソリン・エンジン構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	スポーツカートエンジン取り外し				
3～6	スポーツカートエンジン分解				
7	分解図の見方と部品発注方法				
8～9	エンジン内部部品洗浄				
10～15	エンジン組み立て				
16～17	エンジン取り付け				
18～20	エンジン調整及びスポーツカート整備				
21～26	サーキット実習				
27～29	科目習得試験				
30～34	スポーツカート走行後整備				
35	試験結果発表				
36～40	整備作業エンジンⅠ復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS712		整備作業エンジン I		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	2年	前期	50分	35
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		岩本 満			
■ 授業概要及び到達目標					
エンジンを分解し、ノギスやマイクロメータを用いて内部部品の点検及び良否判定を行う。 エンジン脱着、エンジン分解作業の復習。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ジーゼル・エンジン構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	エンジン取り外し				
3～6	エンジン分解				
7～8	ノギス、マイクロメータの使い方				
9～10	シリンダゲージの使い方				
11～18	エンジン内部部品測定				
19～22	エンジン組付け				
23～24	エンジン取り付け				
25～30	サーキット実習				
31～33	科目修得試験				
34～35	整備作業エンジン I 復習				

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS713		整備作業エンジンⅡ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	1年	前期	50分	40
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		岩本 満			
■ 授業概要及び到達目標					
直列4気筒エンジンの構造を理解し、ピストン脱着作業を習得する。車両における吸排気装置の配置と脱着作業を習得する。構造研究においては、エンジン内部部品の点検方法及び交換部品の選択方法を理解する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ガソリン・エンジン構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～6	直列4気筒エンジン分解				
7～9	吸排気装置取り外し				
10～12	エンジン本体、吸排気装置構造研究				
13～18	ピストン脱着作業練習				
19～21	科目習得試験				
22	試験結果発表				
23～30	直列4気筒エンジン組み立て				
31～34	吸排気装置組付け				
35～40	整備作業エンジンⅡ復習				

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS714		整備作業エンジンⅡ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	2年	前期	50分	35
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		岩本 満			
■ 授業概要及び到達目標					
ジーゼルエンジンを分解・組立し、特徴及び特有の装置について学ぶ。 ジーゼルエンジンのタイミングベルト交換作業を習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ジーゼル・エンジン構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～4	ジーゼルエンジン分解				
5～6	燃料装置構造研究				
7～8	予熱装置構造研究				
9～11	エンジン本体構造研究				
12～20	ジーゼルエンジン組立				
21～22	タイミングベルト脱着作業要領				
23～28	タイミングベルト脱着作業練習				
29～31	科目修得試験				
32～35	整備作業エンジンⅡ復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS715		整備作業エンジンⅢ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	後期	50分	40
					1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		岩本 満			
■ 授業概要及び到達目標					
冷却装置の脱着作業及び冷却水のエア抜き作業を習得する。オルタネータを分解して構成部品の確認をする。補機駆動ベルトの交換作業を多頻度作業として習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ガソリン・エンジン構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～4	オルタネータ分解・組み立て				
5～8	オルタネータ内部点検及び構造研究				
9～10	オルタネータ車上点検				
11～15	ファンベルト脱着				
16～26	冷却装置脱着作業				
27～28	ラジエータキャップテスト取扱い				
29～31	冷却水漏れ点検及びエア抜き作業				
32～33	冷却ファン点検				
34～36	科目修得試験				
37～40	整備作業エンジンⅢ復習				

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS716		整備作業エンジンⅢ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	2年	後期	50分	60
2					
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		岩本 満			
■ 授業概要及び到達目標					
電子制御式点火装置の構成部品を取り外し、構造研究を行う。また、外部診断機を使用して各センサの役割や点火時期の変化を観察する。ジーゼルエンジンから燃料装置を取外し、構造研究及び整備方法を学ぶ。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)					
＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～4	電子制御式点火装置のセンサ脱着				
5～8	点火信号、点火確認信号波形				
9～10	一次電圧波形				
11～13	基本進角確認				
14～16	補正進角確認				
17～21	ジーゼルエンジン燃料装置脱着				
22～24	燃料装置構造研究				
25～28	科目修得試験				
29～33	整備作業エンジンⅢの復習				
34～46	スポーツカート実習				
47～60	一年次の復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS721		整備作業シャシⅠ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	1年	前期	50分	35
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		蒲地 美照			
■ 授業概要及び到達目標					
ガレージジャッキおよびリフトの使用方法を習得する。タイヤの構造、サイズの読み、タイヤ脱着およびローテーション、タイヤ交換作業、パンク修理について習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	手持ち工具の整理と使い方、授業レポート演習				
3～4	実習場使用時の安全指導				
5～6	シャシ装置の構造研究				
7～12	ガレージジャッキ、リフトの取扱い				
13～18	タイヤ&ホイールの脱着および構造研究				
19～24	タイヤチェンジャとホイールバランスの取扱い				
25～30	タイヤローテーション作業とタイヤの点検作業				
31～32	タイヤのパンク修理				
33～35	科目修得試験				

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS722		整備作業シヤシⅠ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年 前期	50分	35	1
■ 代表教員名		■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴		
中川 将		専任	自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員		蒲地 美照			
■ 授業概要及び到達目標					
パワーステアリング装置を車両から取り外し、構造を確認する。ABSの構成部品と搭載位置を確認し、外部診断器を利用して、異常コードの読み取り方やハイブリッド車のエア抜き方法を学ぶ。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～4	安全作業の再確認と1年次多頻度作業の復習		28～29	ラックエンド交換	
5～10	スポーツカート整備		30～33	科目修得試験	
11	パワーステアリング装置車両搭載方法確認		34～35	パワーステアリング装置復習	
12～14	ラック&ピニオン、パワステポンプ取り外し				
15～16	ラック&ピニオン、パワステポンプ分解				
17～18	構造研究				
19	ラック&ピニオン、パワステポンプ復元				
20	ラック&ピニオン、パワステポンプ取り付け				
21	パワステオイルエア抜き、他調整作業				
22	ABS装置搭載確認				
23	ABS装置異常コード確認方法				
24	ブレーキラインエア抜き復習				
25	HV車エア抜き方法確認				
26	HV車異常コード確認方法				
27	ラックブーツ交換				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS723		整備作業シャシⅡ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
専門	必修	1年	前期	50分	
				40	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		蒲地 美照			
■ 授業概要及び到達目標					
トランスミッションとクラッチを車両から取り外し、それぞれを分解し構造を研究する。クラッチについては組付け作業を多頻度作業として習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内) <基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～3	トランスミッション取り外し				
4～5	クラッチ構造研究				
6～8	トランスミッション取り付け				
9～11	トランスミッション分解				
12～13	トランスミッション構造研究				
14～16	トランスミッション組付け				
17～18	クラッチ不具合				
19～20	マニュアルトランスミッション不具合				
21～22	実技チェック				
23～30	スポーツカート整備(駆動系、その他)				
31～32	実習場開放				
33～35	科目修得試験				
36～40	整備作業シャシⅡ復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS724		整備作業シヤシⅡ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年 前期	50分	35	1
■ 代表教員名		■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴		
中川 将		専任	自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員	蒲地 美照				
■ 授業概要及び到達目標					
オートマチックトランスミッションを車両から取り外し、分解し構造の理解を深める。トルクコンバーターの流体クラッチの仕組みも理解する。ATの点検(油量点検、ストール点検)も実施し習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	AT搭載方法確認				
2～5	AT取り外し				
6～9	AT分解				
10～11	構造研究				
12～16	AT復元				
16～20	AT取り付け				
21～22	ATオイル補充、他調整作業				
23～25	トルクコンバータ構造研究				
26～29	AT基本点検、ストール点検				
30～33	科目修得試験				
34～35	AT復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS725		整備作業シャンⅢ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	1年	前期	50分	35
					1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		蒲地 美照			
■ 授業概要及び到達目標					
マスターシリンダーの分解を実施し、油圧の発生する仕組みを学習する。ドラムブレーキとディスクブレーキを分解し制動力が働く原理、自動調整機構を学習する。ブレーキの分解組付作業は多頻度作業として習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	フロント(ディスク)ブレーキ構造研究				
2	リヤ(ドラム)ブレーキ構造研究				
3～6	マスターシリンダ分解組付け、構造研究				
7～8	パーキングブレーキ構造研究				
9～13	ドラムブレーキ分解、構造研究、組付け				
14～18	ディスクブレーキ分解、構造研究、組付け				
19～20	ブレーキ分解組付け練習				
21～22	ブレーキ、マスターシリンダ振り返り				
23～26	科目修得試験				
27～28	ブレーキテスト				
29～35	多頻度作業練習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS726		整備作業シャシⅢ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年 前期	50分	35	1
■ 代表教員名		■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴		
中川 将		専任	自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員		蒲地 美照			
■ 授業概要及び到達目標					
LSDを分解し各種類の特徴を学ぶ。大型車のエアブレーキ、エア油圧ブレーキの構造を実際の部品で確認し動きを理解する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	LSD構造研究				
3～4	エアブレーキ構造研究				
5～6	エア油ブレーキ構造研究				
7～12	ディファレンシャル脱着				
13～18	カートを用いたディファレンシャル機能の確認と整備				
19～24	カート実習				
25～30	カート整備、クリーニング				
31～33	科目修得試験				
34～35	大型シャシ復習				
	</				

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS727		整備作業シャシⅣ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	1年	前期	50分	35
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員 蒲地 美照					
■ 授業概要及び到達目標					
車両からプロペラシャフト、ディファレンシャル、ドライブシャフトを取り外し、構造を学習する。ディファレンシャルの3作用の確認をするとともに、デフオイルの点検方法を学ぶ。ドライブシャフトのブーツ交換は多頻度作業として習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	動力伝達装置を実車で確認(FF&FR)				
3～4	ドライブシャフト取り外し				
5～6	ドライブシャフト分解				
7～8	ドライブシャフト構造研究				
9～10	ドライブシャフト組付け				
11～12	ドライブシャフト取り付け				
13～18	プロペラシャフト、ディファレンシャルの脱着				
19～24	ディファレンシャル構造研究				
25～26	実技チェック				
27～30	ドライブシャフトブーツ交換、D／Fオイル点検方法				
31	実習場開放				
32～33	科目修得試験				
34	試験発表				
35	FF車のドライブシャフト脱着作業				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS728		整備作業シヤシⅣ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期	■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年 後期	50分	60	2
■ 代表教員名		■ 教員区分	■ 担当教員の主な職務経歴		
中川 将		専任	自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員		蒲地 美照			
■ 授業概要及び到達目標					
大型車のエキゾーストブレーキやエディカレントリターダ、インターアクスルディファレンシャルの取り付け位置、作動について実車で確認する。また、外部診断器を用いた作業の復習を行い、理解度の向上を図る。また、2年間のシヤシ教科の総復習を行う。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～3	エキゾーストブレーキ確認		54～56	総復習(定期点検作業)	
4～6	エディカレントリターダ確認		57～59	総復習(シヤシ関係トラブルシュート)	
7～9	エンジンリターダ確認		60	国家試験に向けての対策授業	
10～13	インタアクスルデフ確認				
14～17	総復習(パワーステアリングとABS)				
18～21	総復習(トルクコンバータとATの制御)				
22～25	総復習(AT基本点検、ATストールテスト)				
26～29	総復習(LSD、大型シヤシ、ホイールアライメント)				
30～33	総復習(エアブレーキとエア油圧式ブレーキ)				
34～36	科目修得試験				
37	試験発表				
38～42	総復習(走行装置、操舵装置)				
43～47	総復習(動力伝達装置、駆動装置)				
48～52	総復習(制動装置)				
53	総復習(緩衝装置)				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態
C25AS729		整備作業シャシⅤ			実習
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	1年	後期	50分	35
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		蒲地 美照			
■ 授業概要及び到達目標					
ステアリング装置の構造を学ぶとともに、ターニングラジアスゲージを使用してステアリングギヤ比を学習する。制動倍力装置の構造を確認し、点検方法を習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)					
<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名			出版社
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	操舵装置の構成を実車で確認				
2～4	ステアリングギヤ比を算出 (ターニングラジアスゲージの取り扱い)				
5～7	ステアリングホイール、コラムの脱着				
8～9	ステアリング機構の構造研究				
10～15	ステアリングラックブーツの脱着				
16～19	自己倍力装置の点検方法				
20～22	ブレーキパッドの交換作業				
23～25	ブレーキシューの交換作業				
26～27	実技チェック				
28～29	実習場開放				
30～32	科目修得試験				
33	試験発表				
34～35	整備作業シャシⅤ復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS730		整備作業シャシⅥ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	1年	後期	50分	35
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		蒲地 美照			
■ 授業概要及び到達目標					
サスペンションの種類を車両で確認する。サスペンションを車両から取り外し分解して構造を過学習する。フロントサスペンション交換を多頻度作業として習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)					
<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	懸架装置を実車で確認		17～18	ダブルウィッシュボーン構造研究	
3～4	ショックアブソーバー無し車の走行体験		19～20	リヤサスペンション組付け	
5～6	フロントサスペンション取り外し		21～24	サスペンション脱着練習	
7～8	マクファーソンストラット分離		25～26	実技チェック	
9～10	ショックアブソーバーの構造研究		27～29	反復練習	
11～12	マクファーソンストラット組み立て		30～32	科目修得試験	
13～14	フロントサスペンション組付け		33	試験発表	
15～16	リヤサスペンション取り外し (ダブルウィッシュボーン)		34～35	整備作業シャシⅥ復習	
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名			
2025年度		自動車整備科					
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態			
C25AS731		整備作業シャシⅦ		実習			
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 授業時数		■ 単位数	
専門	必修	1年	後期	50分	60	2	
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴			
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務			
■ その他教員		蒲地 美照					
■ 授業概要及び到達目標							
ホイールアライメントで使用するCCKゲージ、トーインゲージ、サイドスリップテストを学び、アライメントの調整と測定を行い習得する。1年次のシャシ関係多頻度作業の復習を行う。							
■ 成績評価基準							
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			
■ テキスト・参考書							
著者名		書籍名			出版社		
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会		
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会		
■ 特記事項							
■ 授業計画							
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容		
1～2	アライメントに関係する部品を実車で確認			34	試験発表		
3～4	CCKゲージの使い方と測定			35～37	走行装置(タイヤ・ホイール)復習		
5～6	トーインゲージの使い方と測定			38～40	制動装置(ドラムブレーキ)復習		
7～8	サイドスリップテストの使い方と測定			41～43	制動装置(ディスクブレーキ)復習		
9～14	スポーツカート整備			44～46	動力伝達装置(クラッチ、T／M)復習		
15～20	サーキット実習			47～49	動力伝達装置(Pシャフト、Dシャフト)復習		
21～26	ディファレンシャルのバックラッシュ調整作業			50～52	緩衝装置(サスペンション)復習		
27～28	実技チェック			53～55	操舵装置(ステアリング)復習		
29～30	ディファレンシャルのバックラッシュ調整作業反復			56～58	制動装置(自己倍力装置、マスターシリンダ)復習		
31～33	科目修得試験			59～60	シャシの不具合について		
備考							

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS741		整備作業電装Ⅰ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	1年	前期	50分	35
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		小屋敷 真			
■ 授業概要及び到達目標					
サーキットテストの使用方法を理解するとともに、パネルで回路を作成しながら電圧・電流・抵抗について測定し、不具合箇所を特定する。車両の電源とボデーアースを理解する。バッテリーの点検及び交換作業を習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～6	サーキットテスト製作				
7～10	サーキットテストの使用方法				
11	ボデーアースとは				
12～13	測定作業練習				
14	ヒューズの役割				
15	電気回路作成				
16～18	リレー回路の電位予想				
19～24	リレー回路のトラブルシュート				
25	バッテリーの比重測定				
26	バッテリーの点検				
27	バッテリー交換作業				
28	バッテリーレスキュー方法				
29	充電装置簡易点検				
30～33	科目習得試験				
34～35	整備作業電装Ⅰ復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS742		整備作業電装Ⅰ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	2年	前期	50分	35
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		小室敷 真			
■ 授業概要及び到達目標					
電気自動車及びハイブリッド自動車の整備上の留意点を学ぶ。 絶縁工具の必要性や使用方法を習得する。 空気調和装置の整備方法及び冷媒の取扱いについて学ぶ。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～6	電気自動車及びハイブリッド自動車の整備上の注意				
7～8	絶縁工具の使用方法				
9～14	先進安全技術の体験				
15～16	ハイブリッド自動車と外部診断機の接続				
17～18	ハイブリッド自動車のバッテリーレスキュー				
19～20	冷媒回収方法				
21～24	空気調和装置構造研究				
25～28	真空引き及び冷媒充填				
29～31	科目修得試験				
32～35	整備作業電装Ⅰ復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS743		整備作業電装Ⅱ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	1年	前期	50分	35
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		小戸敷 真			
■ 授業概要及び到達目標					
スタートを分解し構造を理解するとともに、吸引・保持・戻りの点検、無負荷試験を重要作業として習得する。二輪車のバッテリー及びスタータの脱着作業を習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)					
＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～4	スタータの分解及び組み立て				
5～6	車両からのスタータ取り外し				
7～8	スタータの無負荷試験				
9～10	スタータの吸引、保持、戻り試験				
11～13	構造研究				
14～16	車両にスタータ取り付け				
17	インヒビタスイッチの点検				
18～19	二輪車の取り扱いについて				
20～21	二輪車のバッテリー交換作業				
22～26	二輪車のスタータ脱着作業				
27	二輪車の安全装置について				
28～30	科目習得試験				
31～35	整備作業電装Ⅱ復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名		
2025年度		自動車整備科				
■ 科目コード		■ 科目名			■ 授業形態	
C25AS744		整備作業電装Ⅱ			実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数	■ 単位数
専門	必修	2年	前期	50分	35	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴		
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務		
■ その他教員		小屋敷 真				
■ 授業概要及び到達目標						
電子制御式燃料噴射装置に必要なセンサの出力波形をオシロスコープで確認したり、疑似信号を入力したときに制御が変化することを確認したりすることで燃料噴射制御の理解を深める。過給機の構造研究を行い、それぞれの特徴を理解する。						
■ 成績評価基準						
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		
■ テキスト・参考書						
著者名		書籍名			出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)			日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項						
■ 授業計画						
回	授 業 内 容			回	授 業 内 容	
1～8	各種センサの脱着作業					
9～12	オシロスコープを用いてセンサの波形を観察					
13～18	インジェクタの噴射波形					
19～21	外部診断機のデータモニタ機能の確認					
22～24	電子制御式スロットルバルブ脱着作業					
25～26	ISCVの作動確認					
27～28	過給機の構造研究					
29～31	科目修得試験					
32～35	整備作業電装Ⅱ復習					
備考						

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS745		整備作業電装Ⅲ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
専門	必修	1年 後期	50分	■ 授業時数 ■ 単位数	
				35	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		小屋敷 真			
■ 授業概要及び到達目標					
配線図を用いて故障探求を行う。現象を確認し不具合箇所を予想する。インターンシップを通じて、これまで学んだ知識や技術を確認する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	現象確認の重要性				
3～8	配線図を用いて不具合箇所を特定する				
9～28	インターンシップ				
29～31	科目修得試験				
32～35	整備作業電装Ⅲ復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS746		整備作業電装Ⅲ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
専門	必修	2年 後期	50分		
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		小屋敷 真			
■ 授業概要及び到達目標					
可変バルブタイミング機構を取り外し、構造研究を行う。 パワーウインドウ構成部品の脱着作業を習得。 ワイパーアーム及びワイパーモータの脱着作業を習得。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)					
<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～6	可変バルブタイミング機構脱着				
7～8	可変バルブタイミング機構構造研究				
9～14	パワーウインドウモータ脱着				
15～16	ガラスラン脱着				
17～25	パワーウインドウ回路作成				
26～28	ワイパーモータ脱着				
29～31	科目修得試験				
32～35	整備作業電装Ⅲ復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS747		整備作業電装Ⅳ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
専門	必修	1年	後期	50分	
				35	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		小屋敷 真			
■ 授業概要及び到達目標					
点火装置の点検方法、スパークプラグの脱着作業の習得。タイミングライトや外部診断器を用いて点火時期を測定する。ノッキングの現象確認や防止策を学ぶ。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)					
<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	点火装置構造研究				
3～4	スパークプラグの点検				
5～6	スパークプラグの脱着				
7～16	パワーバランス点検、火花点検				
17～18	回部診断器の使い方				
19～20	点火時期測定				
21～22	1年次の復習				
23～28	スポーツカート整備				
29～31	科目修得試験				
32～35	整備作業電装Ⅳ復習				

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS748		整備作業電装Ⅳ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
専門	必修	2年 後期	50分		
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
岩本 満		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		小屋敷 真			
■ 授業概要及び到達目標					
灯火装置の脱着作業及び各バルブ交換作業を習得する。 2年間の電装教科の総復習を行う。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内) <基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～6	二輪車の灯火装置脱着				
7～12	4輪車の灯火装置脱着				
13～20	灯火装置回路作成				
21～24	各灯火装置のバルブ交換作業				
25～32	電装総復習				
33～35	科目修得試験				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS751		整備作業故障探求		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	1年	後期	50分	35
					1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		蒲地 美照			
■ 授業概要及び到達目標					
トラブルシューティングの基本的考え方と進め方を学ぶ。実際に不具合を設定した車両を使用し、お客様への問診や現象確認の方法、点検方法の基礎を学ぶ。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	トラブルシュートの考え方と流れ				
2～3	現象確認の練習				
4～5	エンジン関係の点検方法と練習 (パワーバランス点検)				
6～7	エンジン関係の点検方法と練習 (インジェクタの作動音点検、火花点検)				
8～9	エンジン関係の点検方法と練習 (コンプレッション点検)				
10～11	電装関係の点検方法と練習 (暗電流の点検)				
12～13	電装関係の点検方法と練習 (スタータの点検)				
14～15	電装関係の点検方法と練習 (灯火装置の点検)				
16～23	トラブルシュート作業				
24	トラブルシュート解説				
25～27	後期試験				
28	試験発表				
29～35	レベルの高いトラブルシュートに挑戦				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS752		整備作業故障探求		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	■ 授業時数
専門	必修	2年	後期	50分	35
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員 蒲地 美照					
■ 授業概要及び到達目標					
実践的なトラブルシューティングの考え方と進め方を学ぶ。実際に不具合を設定した車両を使用し、現象から不具合箇所の推定や点検による不具合箇所の切り分けを学び、不具合箇所を実際に特定していく方法を学ぶ。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)					
<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		電装品構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
全国自動車大学校・整備専門学校協会		ガソリンエンジン構造		全国自動車大学校・整備専門学校協会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	車両での現象確認				
3～4	外部診断器を使用しての異常コードの読み取り				
5	外部診断器取扱の実技チェック				
6～13	車両でのトラブルシュート実践				
14～15	トラブルシュートの解説				
16～20	科目修得試験				
21～26	難しいトラブル事象の紹介と確認				
27～35	トラブルシュート実践方法の復習				

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS811		整備作業電子制御		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	1年	後期	50分	35
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
小屋敷 真		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		岩本 満			
■ 授業概要及び到達目標					
レーダーやカメラなどの構造確認及びスキャンツールを用いたエーミング作業について学ぶ。 電気自動車やハイブリッド自動車、電子制御式燃料噴射装置の基礎を理解する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)					
＜基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可					
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	先進安全技術のセンサー確認				
3～6	エーミング作業				
7～8	ハイブリッド車の取扱い及び整備上の注意				
9～10	電気自動車の構造				
11～16	燃料装置構造研究				
17～20	オシロスコープと外部診断機の取り扱い				
21～22	エアフロメータ、バキュームセンサ出力確認				
23～24	燃料圧力確認				
25～26	インジェクタ作動音点検				
27～28	噴射波形及び噴射時間の読み取り				
29～31	科目修得試験				
32～35	整備作業電子制御復習				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS911		自動車検査作業Ⅰ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	2年 前期	50分	35	1
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		蒲地 美照			
■ 授業概要及び到達目標					
12月点検の意味と点検項目を学ぶ。実際に点検させ、点検後の点検整備記録簿の記入方法について学び、多頻度作業として習得する。シートベルトやエアバックの構造を学ぶ。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1～2	12月点検概要と必要性				
3～4	12月点検項目と実車での確認				
5～8	定期点検記録簿				
9～12	受入れ業務、納車業務				
13～22	12月点検作業				
23～24	12月点検実技チェック				
25～27	12月点検作業				
28～30	科目修得試験				
31～35	受入から引き渡し of ロールプレイング				
備考					

■ 対象入学年度		■ 学科名		■ コース名	
2025年度		自動車整備科			
■ 科目コード		■ 科目名		■ 授業形態	
C25AS912		自動車検査作業Ⅱ		実習	
■ 科目区分 必修／選択		■ 配当年次・学期		■ 1コマあたりの時間	
■ 授業時数		■ 単位数			
専門	必修	2年	後期	50分	35
1					
■ 代表教員名		■ 教員区分		■ 担当教員の主な職務経歴	
中川 将		専任		自動車整備士として自動車販売店に勤務	
■ その他教員		蒲地 美照			
■ 授業概要及び到達目標					
車検の必要性と点検項目を学ぶ。実際に点検させ、検査機器の使用方法を学ぶとともに、点検後の指定整備記録簿の記入方法について学び、多頻度作業として習得する。					
■ 成績評価基準					
実習試験の結果(70%以上) 授業レポートの結果(30%以内)				<基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	
■ テキスト・参考書					
著者名		書籍名		出版社	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		三級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
日本自動車整備振興会連合会教科書編集委員会		二級自動車整備士(総合)		日本自動車整備振興会連合会	
■ 特記事項					
■ 授業計画					
回	授 業 内 容		回	授 業 内 容	
1	24月点検概要と必要性				
2	24月点検項目と実車での確認				
3	指定整備記録簿				
4	車検機器の取り扱いと判定基準				
5	24月点検作業				
6	24月点検における調整作業				
7	24月点検作業(車検作業と記録簿の作成)				
8～27	インターンシップ				
28～30	科目修得試験				
31～35	完成検査の復習				
			</		